

ひまわり日記

No. 28

H28.12.8

船橋夏見特別支援学校

校長 小室 いづみ

12月6日(火) 柏市のさわやかちば県民プラザで特別支援学校の生徒作品展が明日から始まります。本日は作品の搬入日！私も係となっているので行きたかったのですが、あいにく葛南地区の校長会と重なってしまいました。本校からも係の先生が生徒のステンドグラスの作品等を持って搬入に出かけました。作品展は、14日までの予定です。

* // *

12月7日(水) 本日はPTA役員会が行われました。PTA会長の挨拶後に、夏見祭で校長の私が出店した手作り品の小物販売の収益金を寄付させていただきました。夏見祭の時、体育館で御覧になった方は御承知でしょうが、ナプキンデコをしたプラスチックのお皿や



カップ、スプーンやフォーク、フェルトで作ったクッキー型の飾りピンやマドレーヌ型のバッジのお店を出しておりました。職員や保護者の皆様のご協力により完売となり、材料費を除いた一万円をPTAで行っている「船橋夏見特別支援学校ユニフォーム製作積み立て」に寄付いたしました。実は先日の駅伝大会も船橋特別支援学校からもらってきたユニフォームを着用しての参加だったのです。去年から始めた積み立てですが、PTAで行ってきた行事のお弁当販売収益による積立額も貯まったので、いよいよ購入しますと言う嬉しい報告が役員会の中でありました。お役に立てて光栄です。



さらに本日は、授業研究に千葉県総合教育センターの塚本指導主事がお出で下さいました。対象の授業は高等部C課程の体育、上野教諭の授業です。「NTMラグビーをしよう！」という本校の生徒にカスタマイズしたラグビーです。BGMの音楽を工夫したり、作戦タイムに皆でポジションを決めたり、得点をボードに貼るのを生徒が担



当したりと様々な配慮がされていました。指導の塚本主事が特に関心を持ったのは、体育祭で保護者の方も御覧になったボールの発射台です。生徒にもラグビーキックの実感を持ってもらいたいとバシンという音と共にボールを打ち出す台、…職員の手作りです。生徒一人一人の気づきをもたらし、自発的行動=学びを起こさせるための授業です。卒業後の健康保持のために、生涯スポーツへどう繋げていくかが、これからの課題です。

* // *

12月8日(木)

本日は茨城県の水戸特別支援学校の先生2名が、本校の視察にいらっしやいました。水戸特別支援学校は創立54年の歴史があり、肢体不自由教育の学校です。外国籍の生徒さんがいたり、寄宿舎もあり、小中高合計212名の生徒です。人数的には分かれる前の県立船橋特別支援学校と似たような状況なのではないでしょうか？修学旅行のドクター同行や医療的ケアの研修等、千葉県の特別支援教育が先進的である事に感心しておられました。また、授業の様子にも本校教員が自作した生徒への支援グッズの写真を撮ったり、様子を確認していました。日常当然のように行っている事に、様々な視点を教えてもらった良い機会でした。

帰りのホームルームで、高等部は駅伝大会の報告会がありました。私も参加して、スライド写真を見た後「記録証」を一人ずつ渡しました。参加した1年生からは笑顔で「来年も絶対参加します！」という嬉しい言葉をもらいました。自分のペースを大切に頑張りましょうね！



* // *